

1 事業概要

事務事業名		社会教育指導員設置事業			課名	公民館	事業No.	295	
					会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
					開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画								
		分野別計画			飯田市版総合戦略				
					飯田市教育振興計画				
				飯田市公民館基本方針					
	法令・例規等			社会教育法					
			飯田市公民館条例						
事業目的		対象	市民						
		意図	全市的な課題に対する学習活動を支援する						

2 事業内容

30年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	社会教育コーディネーターを配置し、次の取組を展開しました。 ・多文化共生に関わる事業（文化庁委託日本語教育事業） ・子育て支援事業（子育て講座や子育て支援リーダー育成講座） ・フィリピンレガスピプロジェクト（JICA委託事業（草の根支援事業）窓口事務） ・交流と学びの会の支援 ・若者を対象とした事業（地域に愛着を抱き活動する学びあいのネットワークづくりを進める若者講座）		社会教育コーディネーター賃金（2名）				3,920	
							0	
		その他の経費					0	
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	
	活動日数	日	462	453	478			
30年度 決算 (千円)	予算額	3,951	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	3,920						
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
	一般財源	3,920						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	1	10	2	3,951	3,920	社会教育指導員設置費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・日本語教育事業については、体制整備を目的とした文化庁の3年間の受託事業が終了しました。継続的に日本語教室を運営し、多文化共生社会の実現をめざすためには、引き続き支援者の育成と活躍の場の機会提供が必要となります。 ・飯田OIDE長姫高等学校と市が連携した地域人教育の成果を他校へ広げ、この地域の高校生の豊かな学びを支援していくことが課題です。							
上記の課題解決のための有効策		・引き続き、日本語教育コーディネーターと支援者の育成のための研修会と教室の開催が望まれます。 ・これまでの飯田OIDE長姫高等学校での成果を整理し、公民館がコーディネート役となり、他の高校との連携について研究を深めていく必要があります。							
次年度に向けての取り組み		・自治体国際化協会（クリア）の助成金を活用して、日本語教育事業を実施します。 ・飯田OIDE長姫高等学校以外の飯田女子高等学校進学コースEクラスにおける地域人材育成の取組を支援します。 ・高校教諭と公民館職員等が連携して、地域における学びについての学習会を開催します。							